

2023 ClassNK 技術セミナー

～GHG 削減に向けた動向と取り組み～

プログラム

受付（13：00-13：30）・開会挨拶

講演Ⅰ 国際条約等の動向

本年開催された IMO 第 80 回海洋環境保護委員会 (MEPC 80)、IMO 第 107 回海上安全委員会 (MSC 107) 及び近年の小委員会の審議結果等を含めた最新の動向を紹介いたします。

講演者：一般財団法人日本海事協会 国際部

講演Ⅱ 国際海運からの GHG 排出削減に関する最新動向

IMO における GHG 削減戦略の改訂および船舶で使用する燃料のライフサイクル評価に関する最新動向、ならびに欧州における船舶からの GHG 排出削減規制案などについて、その概要と本会の対応を紹介いたします。

講演者：一般財団法人日本海事協会 ゼロエミトランジションセンター

10分休憩（15：05-15：15 予定）

講演Ⅲ GHG 削減に向けた各種動向

船上 CO2 回収貯蔵装置ガイドラインの概要及び関連技術課題

船舶からの GHG 排出量削減に向け、燃料転換に加えて、排ガス中の CO2 を回収する手法への関心が高まっており、船上で CO2 を回収及び貯蔵する装置の開発が進められています。ここでは、最近弊会から発行したガイドラインの概要を解説するとともに船舶への搭載に関する今後の技術的課題について説明いたします。

講演者：一般財団法人日本海事協会 技術研究所

風力補助推進システムに関する EEDI/EEXI の認証

風力補助推進システム (WAPS) の EEDI/EEXI への反映方法や認証方法について、EEDI/EEXI 規制の概要をはじめ、IMO 関連ガイダンスの開発経緯、航路影響、インセンティブ付与及び今後の課題を交えながら、詳しく解説いたします。

講演者：一般財団法人日本海事協会 技術研究所

GHG 削減のための新燃料対応機関の技術動向と技術課題

GHG 削減に対応する新燃料対応機関の技術動向とそれらの技術課題等について、ゼロエミッション燃料やカーボンニュートラル燃料などの分類と性状を解説し、現在進行中の国家プロジェクトである船用水素エンジン、アンモニアエンジンの開発について、また船用メタノールエンジンについても紹介いたします。

講演者：九州大学 高崎講二 名誉教授

閉会挨拶（17：00 閉会予定）